

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 1 日

所属	国際教養学部	職名	教授	氏名	柏木 将宏
研究課題	情報基盤の構築・運用および先進的な利用環境の開発・実践				
研究キーワード	教育工学、情報リテラシー、ICT活用、メディア活用	当年度計画に対する達成度		2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた	
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

1. 研究成果の概要

これまで取り組んで来た、本学情報基盤の構築・運用における情報システム、情報セキュリティ、ユーザー支援などに関わる諸活動と共に、その下でのICTに関する先進的な教育・研究環境の開発とアクティブラーニングなどによる実践に関し広範に取り組んでいます。例として、情報導入教育の全学共通教材制作を行う「情報教材開発プロジェクト」の取り組みは15年目を迎え、『千葉商科大学「情報入門」 大学生のための新しい情報リテラシー2022』が刊行されます。情報基礎教育については、学生のPC必携化の進展とそれに伴い必要となる情報基盤環境および教室環境の整備拡充を進め、また基盤教育機構における教育内容の充実に努めるべく活動を進めました。また、ICTとメディア活用に関しては、秋学期から活動制限レベルが緩和されたことにより、映像コンテンツ制作の現地活動が再開されています。

科学研究費補助金による研究活動の2年目は、研究計画において、本学の標準LMS環境で得た遠隔授業の実施やその効果に関するデータを収集、分析することにより内容の進展がみられました。本研究の主たるテーマである学習行動の分析においては、遠隔授業が実施され始めたこの二年間の環境は、計画策定時の想定には無かったものの、むしろ研究内容の進展に資する状況となる可能性が生じています。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

情報の導入教育の全学共通教材として『千葉商科大学「情報入門」 大学生のための新しい情報リテラシー2022』（ワーキンググループ代表）の制作を行いました。

また、科学研究費補助金の成果報告として、情報処理学会第84回全国大会（2022年3月5日愛媛大学；オンライン開催）において「オンデマンド授業におけるLMS履歴を利用した学習行動分析」として学会発表および論文投稿を行いました。

3. 主な経費

ソフトウェアライセンス、PC周辺機器、音響関係機材、映像記録用機材周辺機器など、上記諸活動において必要となる汎用的な物品およびパーツ、消耗品の購入、書籍代、学会費など。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

令和2（2020）年度の科学研究費補助金基盤研究（C）へ「情報基礎教育における実践を通じた理論獲得のモデルに関する研究」の研究課題名で代表者として応募申請を行い採択されています（20K03102、令和2年度～令和4年度、4,290千円）。

（本文は2ページ以内にまとめること）